

# みんな知ってる？紬の魅力

## 本場奄美大島紬とは

本場奄美大島紬とは、手織りで織られた奄美の伝統的工芸品です。丈夫で使い古すほどあじが出るのが特徴です。また、先に糸を染めて織っているため裏表がありません。

古典柄は数種類しかなく龍郷柄や秋名バラ柄が有名です。柄が細かいほど難しく、腕がある人ではないと織ることはできません。

織りあげられた大島紬は、24項目の検査を受け合格したもののみ地球印証紙と伝統証紙が貼られ、「本場奄美大島紬」として販売されます。また、鹿児島本土で作られたものには、旗印証紙が貼られ、「本場大島紬」と呼ばれます。



▲地球印証紙

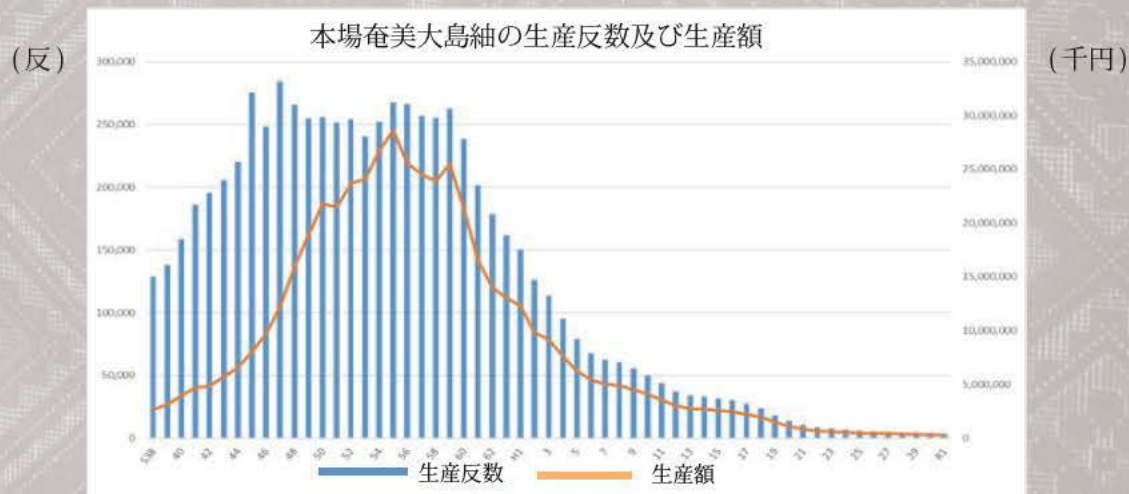


▲旗印証紙

## 本場奄美大島紬の今

### ●大島紬の生産状況

現在大島紬は、生産反数が最も多い昭和2年の356,094反に対し令和元年は3,671反、また生産額も最も高い昭和55年の286億1,304万円に対し3億1,007万3千円と大幅に減少しています。その原因のひとつに、生産者の減少が挙げられます。



## ●生産者の減少

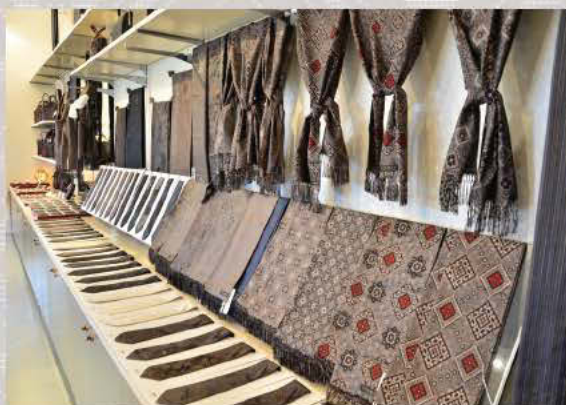
バブル崩壊で売れなくなり生産をやめてしまった企業や、後継者がいなく生産を続けることができないことが生産者の減少につながっています。また、島外から織士を希望してくる方もいますが、織

り賃だけでは生活が難しくアルバイトをしたり地元に戻る方もいます。紬に関わる従事者の高齢の方は賃金が低いため年金が生活の中心になっているそうです。

## ●大島紬を身近にするために

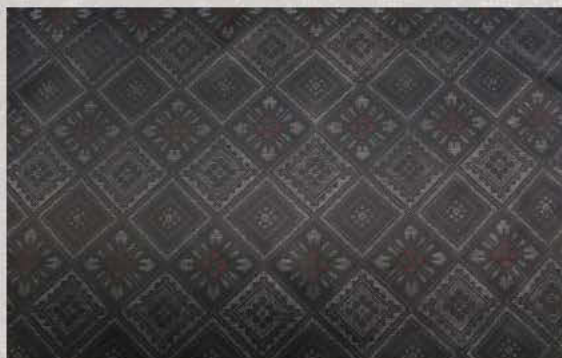
大島紬は着物だと、高価でなかなか手に入れることが難しいです。式典などで使えるブローチやネクタイ、日常的に使えるマスクや財布、名刺入れなど小物と

して販売され、お土産やプレゼントとしても購入されることで身近に感じられるように、紬組合や生産者の方様々な工夫をしています。



## ●現在の大島紬

最近では、奄美の認知度が高まり大島紬が注目され昔ながらの柄が見直されています。中でも有名な、龍郷柄や秋名バラ柄の生産数が増加しています。また、ピンクや紫を取り入れた鮮やかな紬もあります。また、見栄えがよい白大島紬も最近人気があります。



▲龍郷柄

## 紬を広めるために

### ① 体験教室・養成所

イベントを通して織る体験や、養成所で二年間学ぶことができます。

### ② ふるさと納税のお礼品

ふるさと納税のお礼品として、大島紬を使った手提げバッグやネクタイ、名刺入れなどがあります。

▼大島紬の二次製品



▲クルーズ船寄港セレモニー

### ③ 島内向けのPR

大島紬の小物をイベントでの景品として販売しています。大島紬の購入助成事業を行い、購入を促進しています。

### ④ 島外向けのPR

物産展等での販売をしています。クルーズ船寄港セレモニー等でPRをしています。

### ⑤ 海外向けにPR

着物の幅があわない海外の人向けにインテリアでデザインとして楽しめるようにしています。

### ⑥ その他

高校卒業生に大島紬のストラップをプレゼントしています。紬の日やすきすき紬デー等のイベントを実施し、紬に触れる機会を提供しています。



▲紬の日のつどい

## 今後の課題

反物を多く生産したがバブル崩壊で売れず在庫を抱えた生産者の方や、若者の着物離れなど大島紬に関わる課題は多くあります。その中でも、織士の教室に参加しても賃金が低く仕事としてする人が少ない、織士に比べ他の工程をする人が少ないなど後継者不足や育成が今後の課題となっています。

# 私たちが取材しました

令和3年11月9日～12日にかけて、奄美市役所でインターンシップを行いました。

奄美高校2年生 情報処理科  
青木 楓（左）・向 美優（右）



市役所のほか、商店街で大島紬を販売しているお店や本場奄美大島紬協同組合を訪問し、大島紬の現状と課題について取材しました。



▲市民交流センターを見学



▲「あまみーる」さん取材  
大島紬の機織り体験や販売を行っています



▲本場奄美大島紬協同組合の川畑さん  
へ取材



▲大島紬の製作行程についてお話を  
伺いました

奄美市だより 特別号

編集 / 発行 奄美高校情報処理科2年 青木 楓・向 美優